

R3年度地域課題WG 中間報告書

提出日 令和6年3月2日 WG名 災害時の支援体制

テーマ 災害時の支援体制（福祉避難所・指定福祉避難所、個別避難計画の状況、福祉事業所のBCPや連携、など）

話し合った内容・得られた結果	今回のテーマ・新たな課題	今後の方向性
<p>今年度も、引き続き災害という大きなテーマについて、課題を絞りワ ーキンググループとするための準備会として話し合いを行った。</p> <p>昨年度取り組んだ、令和元年東日本台風災害における受け入れや 調整、緊急時や平時からの課題を探るためのアンケート調査結果から 見えたことの確認や個別避難計画の作成状況の確認を継続した。</p> <p>個別避難計画について、福祉政策課からも参加いただいた情報交 換する中で、災害時に避難したくてもできない障害者がいることや、自 宅にとどまることで命の危険があったり、医療的・福祉的支援が中断し てしまったりすることから、対象者を特定して直接避難することができ る「指定福祉避難所」が制度となっており、市で検討中であることがわ かった。「指定福祉避難所」「福祉避難所」「避難所」「親戚等」といった 避難先が制度となってきた中で、制度の理解を深め、障害のある 人の避難できる場がどうあつたらいいかを行政・事業所が共に考えて いくために、11月21日に篠ノ井交流センターで「災害対策ワーキング」 を開催し、約50名の参加をいただいた。参加者の意見・感想も踏ま え、準備会の中で今後どんなワーキンググループとして取り組めばい いか考えている。今後もし市の体制を行政・事業所が共に検討できる 場があればいいのでは、といった話も出ている。</p> <p>障害のある人の災害時の支援、いのちを守るためには、幅広い取り 組みを継続的に検討することが必要と考えられる。いずれ、ふくしネッ トで、災害時の障害のある人への支援について課題の検討や情報共 有ができるために、常設での検討の場などを考えていきたい。</p>	<p>・災害時の支援体制について等、課題や情報を共有し、 継続的に課題検討を行っていく場についての検討</p> <p>・(BCP など含め) 事業所間の災害に関する情報共有や 災害時に連携できる体制について検討したい</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 施策化</p> <p><input type="checkbox"/> 再WG化</p> <p><input type="checkbox"/> 終結</p>